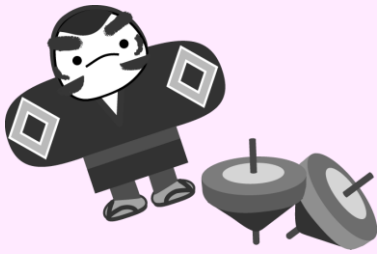


神は皆彼方に集う神無月
 仲町 梅基 文子
 遠山のセピア色なり冬めきぬ
 旭町 大河 博子
 カラフルに農舎の壁や冬はじめ
 旭町 大河内清枝
 冬めきて一雨ごとに身のしまる
 西町 岸波 君江
 白鳥の啼き啼き行くや無人駅
 藤本町 高井 孝子
 日矢もらうひと刻ありて年の暮
 東町 高草木喜代子
 仕事終え痛い痒いも年の暮
 西岡町 高瀬久美子
 食卓に彩り添えてポインセチア
 東町 高橋世津子
 冬至かゆ元気をもらい腹八分
 西町 文梨 清子
 福齢とおもへば軽し年迎ふ
 西町 金澤 頼子
 来し方を鏡に問いて冬の月
 元町 印牧 安子
 ひと年の邪氣を払いて除夜の鐘
 緑町 齋藤 嘉子
 うつし世の刻流れゆく除夜の鐘
 仲町 坂部 和子
 磴のぼる顔おりの顔初詣
 元町 西崎 弘子
 新雪にけもの足跡入り乱れ
 屯田町 古屋 克江
 長寿会くるみの蕎麦に舌鼓
 元町 杉山 繁良

老どちの聖夜にひびくハンドベル
 西岡町 渋谷みさ子
 才闌けしひと召され逝く小春かな
 藤本町 池田 良子
 蠟人の禅家に集ふ善男・女
 仲町 徳井 隆男
 恙なく生きて楽しき聖夜かな
 旭町 大河 茂
 雪虫のせわしなくとぶ昼下がり
 西岡町 児玉 洋子
 奥深く愚痴も飲み込む温め酒
 南桜町 宮腰 幸子
 寄せ鍋や会話だんだんはずみけり
 旭町 宝澤 房子
 年守るや刻みあやしき古時計
 仲町 玉野 研一
 比のあたり我が故郷や雪中
 元町 竹内スミエ
 一瞬の輝き極むサンピラー
 仲町 芳賀 星子



Information 絵本の館から



『十二支のしんねんかい』
 みきつきみ 文
 柳原良平 画
 こくま社

忘年会シーズンが終わったと思ったら、あ、新年会です。うま年の馬さんをはじめとした「十二支」の皆さんも、新年会を開きました。平成26年も良い一年になるように、縁起のいい言葉で自己紹介です。



今月のおすすめ絵本

新着図書

- ・北海道に僕が残したいもの (稲葉篤紀 著)
- ・Dr.コパの盛り塩&持ち塩風水 (小林祥晃 著)
- ・はなとゆめ (沖方丁 著)

ほか



『ゆきのうえ ゆきのした』
 K・メスナー 文
 C・S・ノール 絵
 福音館書店

冬になると、雪の上に点々と動物の足跡が残っていたり、小さな穴があいていたりしますが、寒い外で生き物たちはどうやって暮らしているのでしょうか？私たちの知らない、雪の下の世界のお話です。

